

# 平成30年度 事業計画

## 1、全体の事業

- (1) 柏崎市シルバー人材センターは「公益性を重視した公益社団法人」のセンターとして、市民生活に密着した活動を通して地域社会に貢献する
- (2) 役職員及び会員一丸となり普及啓発に努め、事業の拡大を図り、会員の増員、スキルとモラルの向上、就業意識の高揚を図るとともに事業に必要な補助金等の確保に全力をあげて取り組む
- (3) センターは、会員が働く事、社会貢献をする事により生きがい感や達成感を得られる所であるよう、時代に即応した事業を推進するとともにコンプライアンス、リスクマネジメントを強化する
- (4) 全国から注目されている、きらっと光る良いお店「新潟県知事賞」、内閣府「社会参加章」を受賞した「シルバーふれあいサロンやまゆり」をより一層、会員、市民、商店街に溶け込ませ、拡充を図る
- (5) 遊休地、耕作放棄地の有効活用と地消地産・食育の推進を視野に、販路を拡大、直売所と連携したみんなの農場事業を行う
- (6) 労働局の指導に基づき適切な契約処理を行い、請負・委任になじまない仕事については一般労働者派遣事業として推進する。また、必要に応じ有料職業紹介を行う
- (7) 介護保険法に基づく居宅サービス事業、居宅介護支援事業、日常生活支援総合事業を推進する
- (8) 事故ゼロを目指し、パトロールや研修を行い、会員自身の健康管理を推進しながら、より一層安全就業に努める
- (9) 柏崎市より指定された管理者として、ワークプラザ柏崎の管理運営を行う
- (10) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用して、派遣事業に特化した人材の掘り起こし、雇用就業先の確保、高年齢者の就業機会の拡大を図る
- (11) 介護・子育て・製造業などの人材不足分野に向け、働き方の提案などを含めた派遣等を推進するとともに、法令改正に伴う業務拡大に対しても柔軟に対応する
- (12) 適性就業の観点から庭木・除草作業を積算基準に基づく方法に改め、完全請負化を目指す
- (13) 買い物支援、空き家対策、農福連携などを視野に、公民の連携を図る

## 2、組織活動

理事会 原則として毎月開催

### 広聴広報部会

- (1) 「シルバーだより柏崎」の発行 年2回実施  
第116号 9月15日 8ページ  
第117号 4月15日 12ページ
- ① 編集方針
1. 事務局・理事会の動き、事業計画・報告、各地区活動の状況、いきいき就業体験やシルバーめい人登場、部会活動の紹介、シルバー人材センター事業のPR、ワークプラザ柏崎のPR、「やまゆり」通信など。
  2. 「シルバーだより柏崎」の見やすい親しみのある会報を目指す。（読みやすく写真を多く）

② 「シルバーだより柏崎」の周知

1. 全国のシルバー人材センターへメールで配信。
2. ホームページにシルバーだよりを掲載する。

(2) メディア活用

情報収集及び発信

(3) 周知活動

イベントチラシ作成

イベントを活用したPR活動

(4) 入会案内資料等の管理

安全衛生部会

(1) 重点目標

「点検・声かけで事故防止、健康で無理せず安全就業」  
つもり・はず・たぶん・だろが事故のもと

(2) 実施計画

今年度テーマは「現場の事前確認、ルールを守って安全就業」です。  
会員としてのマナー、守らなければならないルールを再認識し、現場の事前確認を徹底し、「一人一人の言動が、シルバー全体の評判になることを意識して行動しよう」を合い言葉に、安全就業を進めていきたいと思えます。また、昨年より力を入れている危険予知を意識した活動をさらに推進します。

①組織を生かした意識啓発

1. 安全・適正就業推進委員への協力要請
  - ・職群班合同研修会（3月）：班長と安全担当の役割について講義
  - ・地区委員長会議（適宜）
  - ・地区研修会（適宜）
2. 安全衛生部会の開催（適宜）
  - ・年間活動の具体策について
  - ・新年度事業計画について
  - ・安全対策についての検証
  - ・事故発生時の対応
3. 職群班ごとに安全担当会員を選出、自己管理を徹底

②主な安全就業対策

1. 作業前朝礼の実施と事前点検 安全・適正就業ミーティングチェックシート  
の活用徹底
2. 指差し呼称の徹底
3. 機械器具、安全保護具の点検整備、装着状況（安全就業パトロール時に実施）
4. 就業現場の総点検
  - ・朝礼時に合わせて安全就業パトロールを実施
5. 安全衛生部会による事故調査並びに再発防止の周知徹底
  - ・重篤事故時は専門家に依頼 情報を共有する
6. 高齢者運転事故防止に向けての安全運転講習会及び運転診断の実施

③安全・適正就業強化月間の取組み

（6/1～9/10無事故100日キャンペーン実施）

1. 安全意識啓発のための注意喚起
2. 資料配付
3. 安全・適正就業推進研修会（県連合主催）への参加

- ④会員の健康管理について
  - 1. 職群班毎に救急薬品の提供
  - 2. 血圧器、ヘルスマーター、視力測定等による簡単な健康管理の勧め（事務局に設置済）
  - 3. 市民検診、個人検診による健康管理の徹底
  - 4. 熱中症について会員向け健康講話の実施
  
- ⑤その他の啓発活動
  - 1. 声かけ運動の実施 朝礼時に声だし運動シートを全員で唱和 指差呼称の  
実施
  - 2. ヒヤリ・ハット報告書の募集
  - 3. 安全掲示板の設置（事故発生状況を掲示）
  - 4. 安全就業シール配布
  - 5. 情報の共有化、事故状況、外部からの注意喚起文書等を班長を通じすみやかに周知徹底
  - 6. 安全就業通信の全会員配布（年2回）
  - 7. 熱中症や凍結転倒防止等季節的な注意喚起（適宜）
  - 8. 「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
  - 9. 就業先の明確化（家族への就業先の明示）
  - 10. 他のシルバーへ視察情報交換

#### 女性活躍部会

- (1) 他部会と協力し、会員増強・拡大を図るためPR活動を実施する。
  - ・作品展示やパンフレット配布、各自ロコミ活動など
- (2) 就業の質の向上・拡大のための各種講習会を実施する。
  - ・料理講習会、手芸講習会他
- (3) 手芸や編み物など販売できる商品の製作の手助けをし、「やまゆり」の運営に協力する。
  - ・手芸の会を開催

#### 企画推進部会

- (1) 会員の拡大及び資質の向上
  - ① シルバー事業を発展継続させ、顧客のニーズに応えるため新規会員の獲得を行う
  - ② 人材不足の分野においてピンポイントでの会員確保を行う
  - ③ 会員の資質向上、様々な事業に対応するため各種講座を企画・開設し、運営に当たる
  - ④ 会員研修会を企画運営する
- (2) 事業の拡大
  - ① 会員の就業ニーズに応えるため事務局と連携し営業活動を行う
  - ② 会員が活躍出来る場の創出を図る
- (3) 下記の独自事業を拡充し発展させる
  - ① シルバーふれあいサロン「やまゆり」
  - ② 刃物研ぎ
  - ③ リサイクル自転車
  - ④ チャイルドシート貸し付け
  - ⑤ EMボカシ

- ⑥ みんなの農場
  - ⑦ 買い物支援
  - ⑧ 新規独自事業について提案・検討する。
- (4) 中長期計画に沿った運営をしているか検証し、必要に応じ軌道修正を提言する。
  - (5) 会員研修旅行（日帰り）・会員忘年会などを企画・検討する。

### 3、ワークプラザ柏崎

- (1) 「ホテルのフロントのような対応」を心がけ、利用者の満足度向上に努める。
- (2) 稼働率を意識し、積極的な自主事業、感謝祭などを行い、新たな集客と、リピーターの定着に努める。
- (3) 市民が安心して利用できるよう、安全、衛生管理の徹底に努め、アンケートを実施して、お客様の声を反映させる努力を行う。

### 4、連携

- (1) 柏崎市、新潟労働局、新潟県労政雇用課及びハローワークとの情報交換を密に行う。
- (2) 全国シルバー人材センター事業協会、北信越シルバー人材センター連絡協議会及び新潟県シルバー人材センター連合会及び他のセンターと連携し、主催行事に参加して情報交換と資質の向上を図る。